

#### d-4) スジシマドジョウ小型種点小型

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-12(3)に示す。

本種は、嘉瀬川の池森橋上流2地点で、排水樋門付近の水路及び淵で確認された。

本種は、平野部の農業水路または河川下流域の砂泥底、泥底にすむ<sup>28)</sup>。雑食性<sup>28)</sup>で、5月～7月に細流や小溝を経て水田や河川敷の浅い水溜まり等の一時的な水域に移動し、泥底に産卵する<sup>28)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に流れが緩やかな嘉瀬川の下流部及び堤内の水路に生息すると考えられる。

##### i) 直接改変

###### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

###### ・生息地の消失又は改変

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。

##### ii) 直接改変以外

###### 【工事の実施】

###### ・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

###### 【土地又は工作物の存在及び供用】

###### ・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認された地点周辺の水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季

から冬季にかけてやや上昇する場合がある。しかし、冬季から春季にかけて、水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がやや低下する場合があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

・河床の変化

河床の変化により、本種の生息状況が変化すると予測される。「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

iii) まとめ

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。また、直接改変以外の影響は小さいと考えられる。

工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。



#### d-5) メダカ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-12(4)に示す。

本種は、嘉瀬川の池森橋付近3地点及び上流3地点、合計6地点で、河川のとり、排水樋門付近の水路で確認された。

本種は、平地の池や湖、水田や用水、河川の下流域の流れの緩い所に生息<sup>27)</sup>する。卵を水草等に産み付ける<sup>27)</sup>。

生態情報及び確認状況から、主に流れが緩やかな嘉瀬川の下流部及び堤内の水路に生息すると考えられる。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・生息地の消失又は改変

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。

#### ii) 直接改変以外

##### 【工事の実施】

##### ・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

##### 【土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認された地点周辺の水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季から冬季にかけてやや上昇する可能性がある。しかし、冬季から春季にかけて、

水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がやや低下する可能性があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

・河床の変化

河床の変化により、本種の生息状況が変化すると予測される。「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

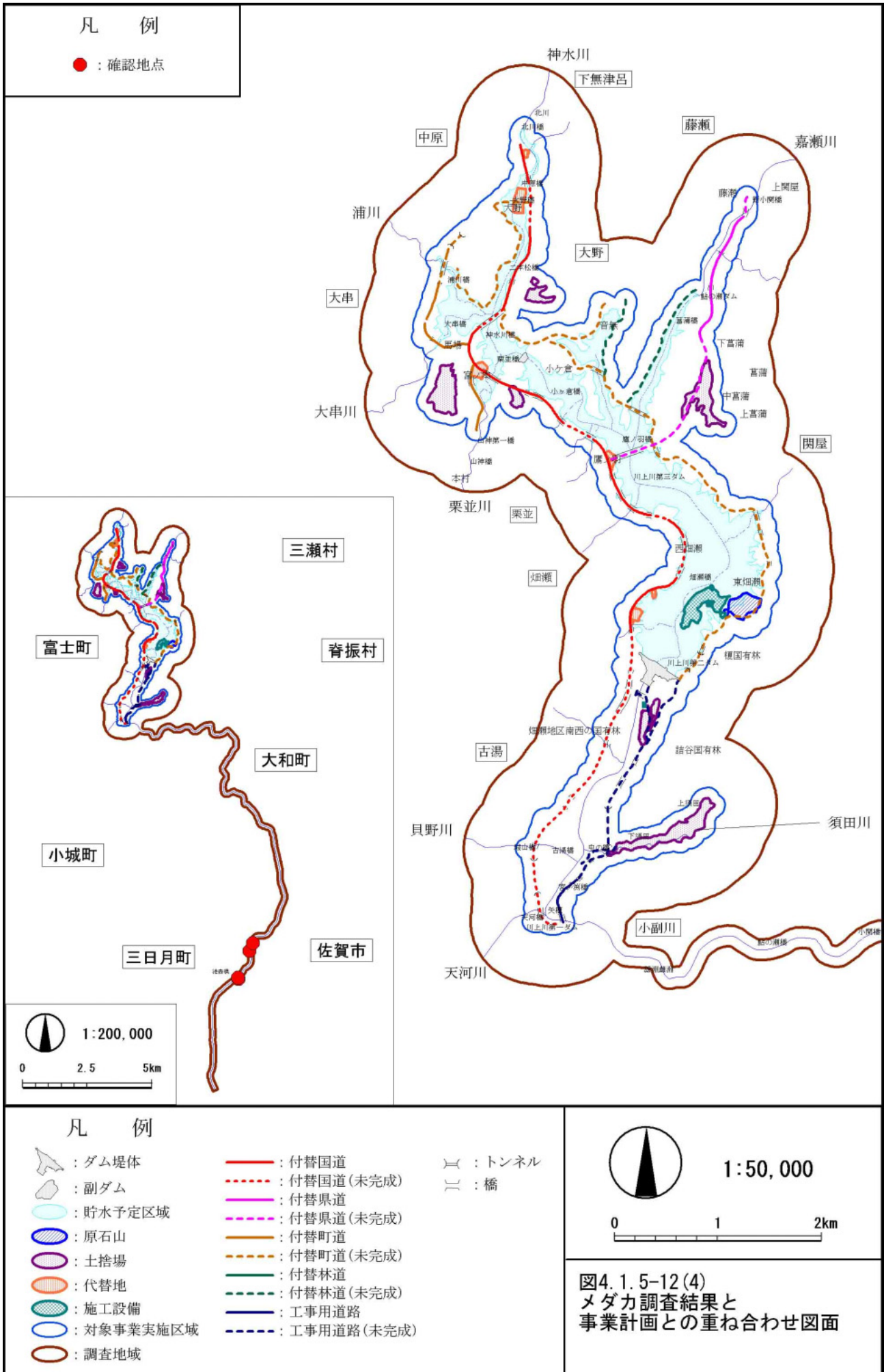
このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

iii) まとめ

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。また、直接改変以外の影響は小さいと考えられる。

工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。



#### d-6) ヤマノカミ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-12(5)に示す。

本種は、嘉瀬川の池森橋上流1地点で、排水樋門付近の平瀬で確認された。

本種は、年間を通じて感潮域上流部の、砂礫質の浅い狭小な水域に単独で見られる<sup>27)</sup>。生後最初の晩秋に成熟して川を下り、早春に河口またはその沖の浅海に達して、二枚貝の空殻内面に産卵する<sup>27)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、有明海で産卵し、嘉瀬川の下流部に遡上して生息すると考えられる。なお、専門家への聴取により、本種は、嘉瀬川大堰により遡上を阻害されており、堰上流部では少なくなっているとの情報を得た。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・生息地の消失又は改変

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。

#### ii) 直接改変以外

##### 【工事の実施】

##### ・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

##### 【土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認された地点周辺の水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季

から冬季にかけてやや上昇する場合がある。しかし、冬季から春季にかけて、水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がやや低下する場合があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

・河床の変化

河床の変化により、本種の生息状況が変化すると予測される。「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

iii) まとめ

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。また、直接改変以外の影響は小さいと考えられる。

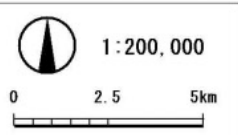
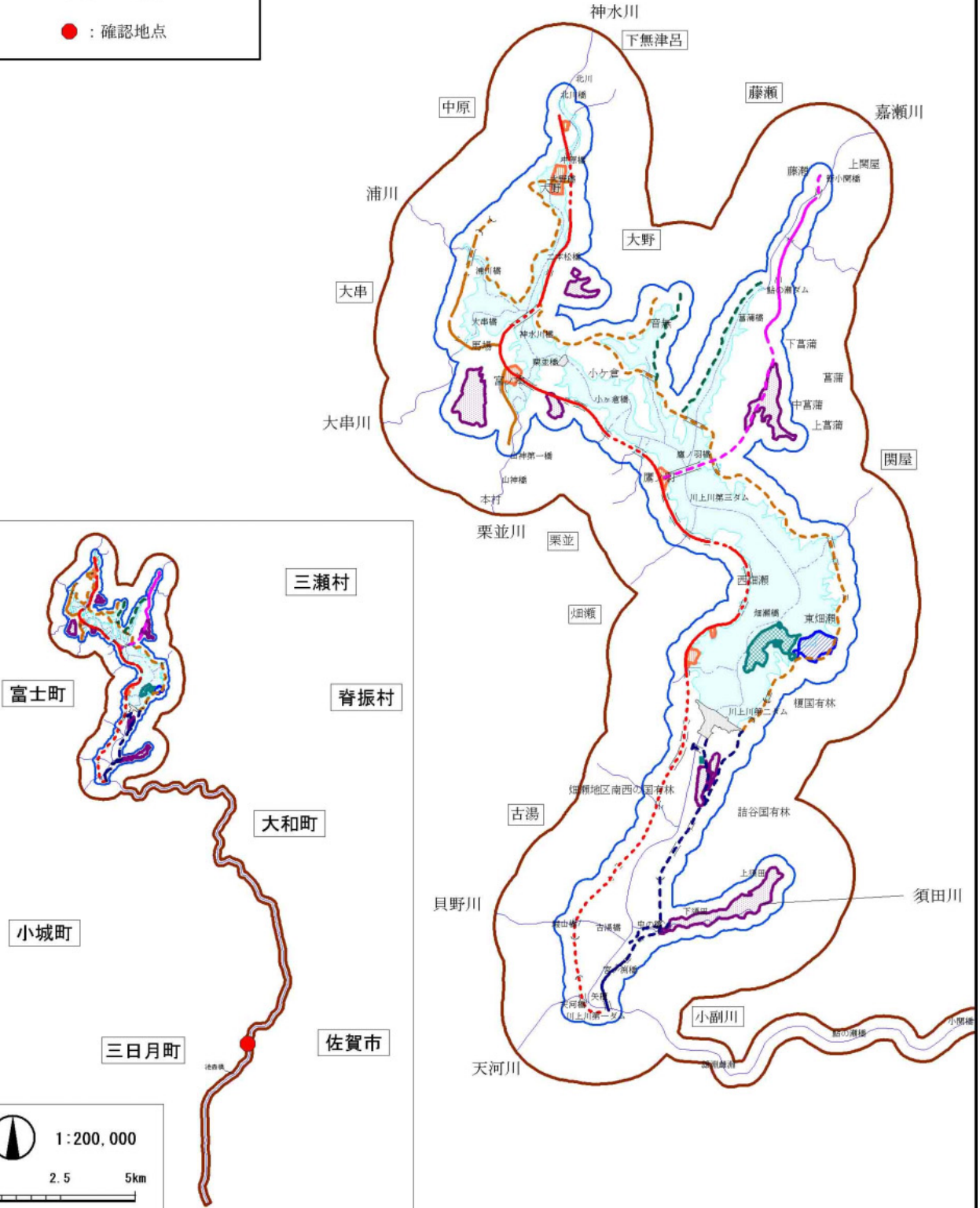
工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。



凡 例

● : 確認地点



凡 例

- : ダム堤体
- : 副ダム
- : 貯水予定区域
- : 原石山
- : 土捨場
- : 代替地
- : 施工設備
- : 対象事業実施区域
- : 調査地域
- : 付替国道
- : 付替国道(未完成)
- : 付替県道
- : 付替県道(未完成)
- : 付替町道
- : 付替町道(未完成)
- : 付替林道
- : 付替林道(未完成)
- : 工事用道路
- : 工事用道路(未完成)
- : トンネル
- : 橋



1:50,000

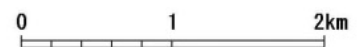


図4.1.5-12(5)  
ヤマノカミ調査結果と  
事業計画との重ね合わせ図面

#### d-7) カジカ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-12(6)に示す。

本種は、浦川の浦川橋付近1地点で、河床が岩や礫からなる平瀬で確認された。本種の小卵型と中卵型は一般に川の中、下流域を中心に生息するのに対して、大卵型はそれより上流側に生息する<sup>27)</sup>。いずれの型も瀬の石礫底に多い<sup>27)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、嘉瀬川の支川上流部にまれに生息すると考えられる。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

##### ・生息地の消失又は改変

本種が確認された浦川の浦川橋付近1地点は、貯水池の出現により消失する。

また、本種の主な生息環境である嘉瀬川の支川上流部は、一部が対象事業の実施による施工設備及び工事用道路の設置、道路の付替の工事及び貯水池の出現により消失する。

このことから、道路及び貯水池の出現する範囲は、本種の生息環境として適さなくなると予測される。

しかし、改変される生息地の上流には同様の環境が連続して分布していることから、本種の生息は維持され则认为られる。

#### ii) 直接改変以外

##### 【工事の実施】

##### ・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと认为られる。

iii) まとめ

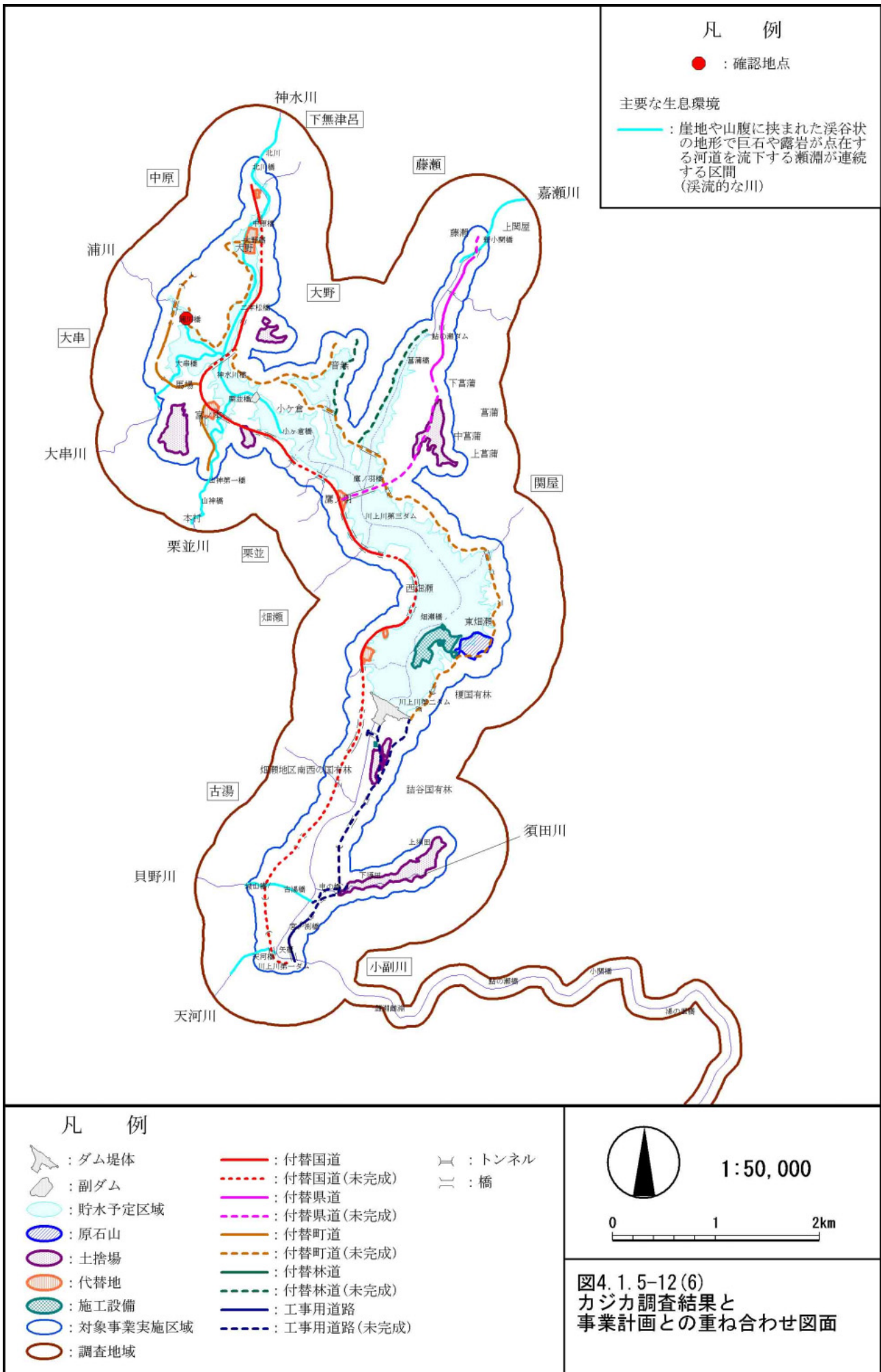
本種は、対象事業の実施により、直接改変による生息地の消失又は改変及び直接改変以外の影響を受けると考えられる。

本種の生息環境である嘉瀬川の支川上流部の一部は、対象事業の実施による道路の付替等の工事及び貯水池の出現により消失する。

しかし、改変される生息地の上流には同様の環境が連続して分布していることから、本種の生息は維持されると考えられる。

また、工事の実施に伴う水質の変化の影響は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。



凡 例

● : 確認地点

主要な生息環境

— : 崖地や山腹に挟まれた溪谷状の地形で巨石や露岩が点在する河道を流下する瀬淵が連続する区間(溪流的な川)

凡 例

- : ダム堤体
- : 副ダム
- : 貯水予定区域
- : 原石山
- : 土捨場
- : 代替地
- : 施工設備
- : 対象事業実施区域
- : 調査地域
- : 付替国道
- : 付替国道(未完成)
- : 付替県道
- : 付替県道(未完成)
- : 付替町道
- : 付替町道(未完成)
- : 付替林道
- : 付替林道(未完成)
- : 工事用道路
- : 工事用道路(未完成)
- : トンネル
- : 橋



1:50,000

0 1 2km

図4.1.5-12(6)  
カジカ調査結果と  
事業計画との重ね合わせ図面

#### d-8) オヤニラミ

調査の結果得られた本種の確認地点と事業計画を重ね合わせた結果を図4.1.5-12(7)に示す。

本種は、嘉瀬川の川上頭首工上流1地点で、ヨシが生育する水際部で確認された。また、文献<sup>14)29)</sup>において嘉瀬川の名護屋橋付近1地点、池森橋上流1地点、合計2地点で確認された記録がある。

本種は、大河川の中流や下流の本流、支流に生息するが、川底がほとんど砂とというような河相の貧弱な支流にはいない<sup>27)</sup>。大河川の中流では平瀬でも淵でもなく、水深50cm前後の岸近くに多い<sup>27)</sup>。流れの緩やかな場所を好む<sup>27)</sup>。

生態情報及び確認状況から、本種は、主に流れが緩やかな嘉瀬川の下流部に生息すると考えられる。

#### i) 直接改変

##### 【工事の実施・土地又は工作物の存在及び供用】

- ・生息地の消失又は改変

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。

#### ii) 直接改変以外

##### 【工事の実施】

- ・工事の実施による水質の変化

工事区域周辺及びその下流では工事の実施に伴う水質の変化が想定されるが、「4.1.4 水環境」によると影響は小さいと考えられる。

##### 【土地又は工作物の存在及び供用】

- ・土地又は工作物の存在及び供用による水質の変化

本種が確認された地点周辺の(ダム下流の熊川から八反原における)水質は、「4.1.4 水環境」における予測によるとSS及びBODの変化は小さいと予測される。

水温は、ダム建設予定地下流の一部の区間において、平成元年～10年の10カ年の流況を用いた予測計算では、ダム建設後の日平均値が現況に比べ、秋季から冬季にかけてやや上昇する可能性がある。しかし、冬季から春季にかけて、水温は低下し現況とほぼ同様になると考えられる。また、夏季には、水温がやや低下する可能性があるが、低下する期間は一時的であり急激な変化ではないと考えられる。

・河床の変化

河床の変化により、本種の生息状況が変化すると予測される。「4.1.7 生態系」における河床の変化の予測によると、河床は概ね現況の河床高を維持すると予測される。

このことから、河床の変化による本種の生息環境の変化は小さいと考えられる。

iii) まとめ

本種の確認位置及び生息環境は、対象事業の実施による改変部に位置しないため、直接改変の影響は想定されない。また、直接改変以外の影響は小さいと考えられる。

工事の実施に伴う水質の変化、土地又は工作物の存在及び供用に伴う水質の変化及び河床の変化により、本種の生息環境が変化する程度は小さいと考えられる。

これらのことから、本種の生息は維持されると考えられる。

